

# 海外農林業情報 No.18

## 米国・EU間の貿易協定交渉の成り行きについて

米国・EU間の貿易協定を目指して検討されている、「成長と雇用」に関するハイレベル・ワーキンググループの最終報告は、No.17でお知らせしたとおり、政治日程との関係から2月にずれ込むようです。EU首脳会議が2月の7～8日に予定されていたこともあり、その前の公開はありませんでしたが、2月12日に予定されているオバマ大統領の一般教書演説の前後、または2月の終わりと予想されています。

交渉はひとつのパッケージ（single undertaking）の形を取りつつも、それぞれの分野の進捗は同時進行ではなくてもよいとの考えに傾いているようです。また、規則関係の問題が交渉膠着の原因となると考えられており、特にワインや酪農品の地理的表示（Geographical Indications、GI）、衛生・検疫措置（SPS）などで、規則の統一性、共通基準について、最終報告の中で具体的な解決策を提示することは難しいと思われます。このような問題に関しては、最終報告では詳細な内容に踏み込まずに、パッケージ全体の交渉開始を求めると見られています。

## TPP交渉における日本の姿勢について

先の衆議院選挙による政権交代により第2次安倍内閣が発足し、TPP交渉に対しどのような方向性を示し、対応をとるかが注目されていますが、安倍総理大臣の所信表明演説に対する質疑の中で、今後の方針について言及があったようです。1月31日付の読売新聞によると、「聖域なき関税撤廃を前提にする限り、TPPには参加しない。政府としてこれまでの協議内容、参加した場合に生じる様々な影響などを含め、精査分析した上で、国益にかなう最善の道を求める」と示されており、例外を求める形で交渉を進める可能性が示唆されました。また、ロイターによると、国内の慎重派との調整を経た春以降に方向性を決定するとされ、これら日本側の考え方が米国側に示されるのではないかとみられています。

累次、本紙でもお知らせしたように、関税問題については、現在進められているTPP交渉でも、個別の二国間交渉で例外取扱いが種々話し合われているようで、米国でさえも砂糖および酪農品等についての例外取扱いを求めているようです。

その他、TPP交渉の農林水産に係る問題としては、漁業および林業における環境の問題があるようです。漁業では、WTOでも議論されている補助金の廃止・削減が注目されており、TPP交渉では米国等が強く求めているのに対し、メキシコ等漁業国は強く反対しています。また、林業では、森林資源の違法伐採と取引問題が注目されています。USTR（米南通商代表部）が2011年12月に公表したグリーンペーパーの中では、野生生物や海洋漁業とともに違法伐採の木材についての取引規制を訴えており、米国側は、違法に伐採された丸太および加工された合板等の森林資源について、強制力を持った禁輸措置を求めているようです。

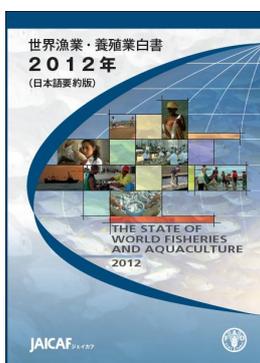
## 参考リンク

- ・首相、TPP 交渉参加表明見送り（ロイター、日本語）  
<http://jp.reuters.com/article/jpTrade/idJP2013020701001842>
- ・ USTR のグリーンペーパー（英語）  
<http://www.ustr.gov/about-us/press-office/fact-sheets/2011/ustr-green-paper-conservation-and-trans-pacific-partnership>

（文責：西野 俊一郎）

## 刊行のご案内

### ・ FAO 「世界漁業・養殖業白書 2012 年（日本語要約版）」



FAO が隔年で発行する報告書を FAO 水産養殖局の監修のもと要約・編集し、日本語要約版として発行したものです。

世界の水産物の 1 人当たり供給量は 2010 年に再び記録を更新し、世界の人々が摂取する動物性タンパク質の 16.6% を占めています。漁業・養殖業が世界の食料安全保障や開発途上国の雇用に果たす役割はますます高まっていますが、一方で過剰開発の状態にある漁業資源の割合も引き続き増加しています。

本書はこうした世界の漁業・養殖業の最新の動向と、国際的な漁業管理の動きや FAO の取り組みを報告するとともに、東日本大震災が漁業資源にもたらした影響にも触れています。最近ではニホンウナギが「絶滅危惧種」に指定されるなど、日本の食卓とも直結する世界の漁業。まずは現状を知ってみませんか。

刊行案内：<http://www.jaicaf.or.jp/reference-room/publications.html>

本書の全文版（英語）やその他 FAO が発行する各種白書の全文はこちらから：

<http://www.fao.org/publications/en/>

なお、下記については、JAICAF より日本語版を発行する予定です。

- ・ FAO 「The State of Food and Agriculture (世界食料農業白書)2012」
- ・ FAO 「The State of Food Insecurity in the World (世界の食料不安の現状)2012」

刊行の状況についてはウェブサイトをご覧ください。<http://www.jaicaf.or.jp/>

本情報のメール配信をご希望の方は、件名に『海外農林業情報配信希望』と記入した空（から）メールを下記までお送り下さい。ご意見、ご感想もお待ちしております。 E-mail アドレス：[deskb@jaicaf.or.jp](mailto:deskb@jaicaf.or.jp)

メールを送付された方には、確認メールをお送りします。送信後 2 週間以内に届かない場合は、お手数ですが 03-5772-7880（担当：西野・森）までお電話下さいますようお願い申し上げます。なお、メール配信をご希望の方には、本ミニ情報のほか、セミナーのご案内等、当協会からのお知らせが届くことがありますので、併せてご了承下さい。

**発行：(社)国際農林業協働協会(JAICAF)**

**〒107-0052 東京都港区赤坂 8 丁目 10-39 赤坂 KSA ビル 3 階**